

- ・ 3.3V または 5.0V ロープロファイルPCIスロット対応
- ・ 最適な状態で、FIFOモードで1Kバイトの転送レート
- ・ GPIB-32.DLLコンパチブルで、HTBasic, HP-VEE, LabVIEW 等のアプリケーションで動作
- ・ Windows 2000/XP, VISTA, Linux対応



概要

「GPIB-LPCI-XL」は、GPIBインターフェースを持つ計測機材/機器をロープロファイルPCIバス・スロットを持つPC/ATコンパチブル(DOS/V)パソコンでGPIBコントロール可能にするPCI GPIB コントローラカードです。トーカー、リスナー、システムコントローラといった全ての基本的なIEEE-488.1の機能をサポートしています。IEEE-488.2コンパチの機能は、IEEE-488.2規格標準に完全互換となっています。システムコントローラとして15台までの機器をコントロールできます。

トーカー、リスナー(機器)として使用する場合、GPIBバスをコントロールしているコントローラとデータとステートメントのやり取りが行えます。

「GPIB-LPCI-XL」は、Windows並びにLinuxでのプログラムで操作できます。

ハードウェア

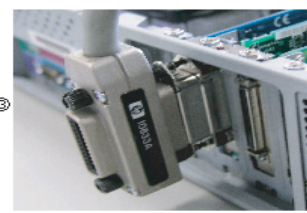
「GPIB-LPCI-XL」は、コンパクトPCIスロットに挿入して使用します(3.3Vと5Vをサポート)。24ピン標準GPIBケーブルを介してGPIBをサポートする機器に接続します。コネクタがぶつかる場合「かさあげアダプタ」で回避できます。

ソフトウェア

[Windows] Windows用のソフトウェアは添付されています。WDM(Windows Driver Model)ドライバで全てのPC/ATコンパチPCでのWindows2000/XP/VISTAで使用できます。Visual C++, Visual Basic, MINGW並びに Delphi用のライブラリ・ヘッダーファイルも用意されています。業界標準のGPIB-32.DLLのサポートは、LabView 6以降、LabWindows、Agilent VEE、TransEra HT-Basic、Agilent Intuilink等々用に開発されたアプリケーションを含め、このインターフェースを使用したアプリケーションの対応を可能にします。

[Linux] Linux用のソフトウェアは添付されています。Intel(x86)版、Linux kernel versions 2.4 と2.6で使用できます。kernelのバージョンが同じであれば、RedHat、SuSE等からのものを使用できます。GNU Compiler Collection(GCC Version 3)を使用したアプリケーションもサポートされています。ig++ クラスライブラリは機器をコントロールするために必要な全てのインターフェースを提供します。そしてIEEE488.2/SCPIコンパチの機器はLinux組み込みシステムで使用できます。

かさあげアダプタの使用事例



仕様 :

GPIB 標準

IEEE 488.1 標準: AH1, SH1, T/TE5, L/LE3, SR1, RL1, PP1/PP2, DC1, DT1, C1, C2, C3, C4, C5
IEEE 488.2 標準: 次のバスラインをリード
EOI, ATN, SRQ, REN, IFC, NRFD, NDAC, DAV

GPIB 通信速度: > 1Mbytes/sec

コネクタ: 標準24-pin IEEE-488
サイズ: PCI form factor, 85 mm H x 120 (ブラケット含まず)
重さ: 75 grams (梱包重量: 500 grams)

保証: 1年

動作環境:

温度・作動時: 0度C から +50度C
保存時: -20度C から +80度C
湿度・保存時: 5-95% (結露しないこと)